

### 2020年に新たに地域売上No.1になった主な商品

地域	分類名 メーカー名 商品名+内容量	商品紹介
北海道	絹ごし豆腐・ソフト豆腐 マルカワ食品 ミニ絹とうふ 3段 150g×3	遺伝子組み換えしていない北米産大豆を使用し、コクがありなめらかな味わい
東北	インスタントコーヒー ネスレ日本 ネスカフェ ゴールドブレンド 80g	いれたての上質な香りとマイルドで奥行きのある味わいを楽しめる
首都圏	甲類焼酎(1.8-2L) 宮崎本店 キッコーミヤ焼酎 キンミヤパック 25度 1800ml	鈴鹿山系の伏流水を使い、味わいはピュアでまろやか
関東 外郭	カニ風味かまぼこ 堀川 サラダアラスカ 75g(10本入り)	塩分を抑えながらカニのうまみを忠実に再現した
中京	キムチ・朝鮮漬 ピクルスコーポレーション ご飯がススムキムチ 200g	家族で食べられるように、りんごの甘みと魚介のうま味にこだわった
北陸	生しいたけ シーテック細入 富山県産生しいたけ 5~8枚	ビニールハウスで一つ一つ丁寧に栽培した
近畿	粒納豆 Mizkan 金のつぶ たれ たっぷり!たまご醤油 たれ 40g×3	たれたつぶりで、たまごかけご飯のような食感で食べられる
中国	ビスケット・クッキー 六花亭製菓 マルセイバターサンド 5個入	ホワイトチョコとレーズン、北海道産生乳100%のバターをあわせたクリームをビスケットで挟んだ
四国	ハードヨーグルト 四国乳業 メイファーム生乳 ヨーグルト 70g×3	香料・安定剤無添加で、四国産生乳と砂糖だけのシンプルな味わいが特徴

## 日経POSセレクション 地域売上No.1



# お国の味 巣ごもりで注目

コロナ下の在宅勤務や外出自粛で巣ごもり生活が増え、自宅で食事する機会も増えた。こうしたなか、お昼ごはんやおやつなどであらためて地域の逸品に注目が集まっている。小売業のPOS（販売時点情報管理）データに基づき選出した日経POSセレクション地域売上No.1で、まんじゅうや生うどんなど分野ごとに売れている商品を調べると、各地域で愛される商品が浮かび上がってきた。

全国販売されずとも、地元で愛される食品は少なくない。「まんじゅう」では、当地菓子が各地の地域売り上げでトップに立った。コロナ下で帰省や旅行を控える人が多くなると、各地の菓子をインターネット通販で取り寄せたり、スーパーの物産展で購入したりするなど、当地菓子の買い方も多様になっていく。

北海道で人気を集めるのは、千秋庵製菓（札幌市）のロングセラー菓子「ノースマン」。北海道産小豆を使用したこしあんをパイで包み、おやつとして親しまれている。日経POSのスーパーの売り上げは2020年8月に他の月の1.5倍を記録し、「お盆の時期のお供えとしての需要も大きい」（同社）。

近畿の1位は青木松風庵（大阪府泉南郡）の「みるく饅頭 月化粧」II写真。白あんの中に練乳とバターを入れた自家製餡が特徴だ。駅や空港での売り上げが減るなか、関西圏に限定していた販路を全国に拡大し、販売先もスーパーなどに広がった。全国スーパーのカバー率（取扱比率）は20年12月には7.6%まで伸びた。

## 銘菓 ネットなど販路拡大



中国の1位は大手饅頭伊部屋（岡山市）の「大手まんぢゅう」。備前米を使った甘酒に小麦粉を混合し発酵させた生地が特徴だ。1837年創業時に発売され、地元での知名度は高い。「人形焼き・もみじまんじゅう」では、中国でやまだ屋（広島県廿日市）「桐菓菓」が首位だった。

## コロナ下家庭でプチゼいたく

2020年の日経POSデータでは、コロナ下の巣ごもり需要などをとらえて売り上げを伸ばし、地域別で売り上げトップに躍進した商品が多数あった。

ビスケット・クッキーでは、六花亭製菓（北海道帯広市）の「マルセイバターサンド」が、20年にスーパーでの売り上げを大きく伸ばし、中国地域で1位だった。中国地域での来店客千人当たり販売金額は413.7円と前年同期比50.0%伸びた。首都圏で69フジミツ（山口県長門市）の「生ちくわ 焼きちくわ」は、コロナ下で「北海道以外の地域やスーパーなどの店頭も増え、購入するお客様が増えた」（六花亭製菓）。

消費者からすると、普段は買えないお土産を近場のスーパーで手軽に購入する機会が増えた。

生ちくわ 焼きちくわでは、も高付加価値商品の「鱧入りた」（四国乳業）という。



だしやしなど、地域の食文化を色濃く反映するうどん。生うどん部門では、地元の食文化にこだわって開発された商品や、地域の消費者に長年親しまれてきた商品が人気を集めた。

中京で首位に立った寿がきや食品（愛知県豊明市）の「八丁味噌みそ煮込みうどん2人前」II写真IIは、名古屋名物であるみそ煮込みうどん専用を開発したというこしの強い麺が特徴だ。豆味噌を使用したスープつきで、煮込み6分で本格的なみそ煮込みうどん

## 地元の名物うどんに支持

が完成する。調理の簡便さが受けて、中京地区だけでなく首都圏でも来店客千人当たり販売金額が前年比2桁増となるなど売れ行きが伸びている。

近畿で1位の恩地食品（大阪府枚方市）の「京うどん180g」は、35年間売れ続けるロングセラー。のどごしよく、やわらかめの食感に仕上げた中細の麺は、子供や高齢者にも食べやすいと幅広い支持を集める。カバー率は、近畿で唯一80%を超えており小売店の評価も高いとみられる。

中国の1位は広島風こだわりのマルバヤシ（広島市）の「うどん 200g」。お好み焼きにも、かけうどんにも合うというソフトなのとこしと麺の丸い形状が特徴だ。

コロナ下の巣ごもり需要の増加などにより、2020年の来店客千人当たり金額は前年比20.4%増と大幅な伸長を見せている。

伸ばしたといえる。

ハードヨーグルトでは、四国地域で四国乳業（愛媛県東温市）の「メイファーム生乳ヨーグルト」が1位だった。日経POSデータによると、「メイファーム生乳ヨーグルト」のカバー率は20年3月に76.2%だったが、10月には90.5%まで高まった。

コロナ禍の一斉休校で給食向け牛乳の需要が減少。酪農家を支援するため県内の量販店や生協の協力を得て特別販売するなか、周辺商材であるヨーグルトの品質の良さにも気が付いてもらい、取引が増えた。

日経POSセレクション地域売上No.1の詳細はサイトで公開中

焼き肉のたれは、各エバラ食品工業の商品だが、北海道はベル食幌市の「成吉思汗」写真IIがトップに立つ食品は北海道のソウルメーカーを自任し、根拠がある。「精肉店として、羊肉とたれを買って、ジンギスカン専用鍋をすなど、北海道でのジカンの普及に尽力したさらに、創業以来70年地元北海道で販売店や写真IIはもとより、その先に販売し続けている強係と、年間を通じて北でCMを放映し続けていると高い認知度につながっている」（同社）と強調

はんぺんは全国的に品が強いが、中京地域

